

## 取扱いの趣旨

網膜動脈硬化症等は、精密眼底検査により診断や経過観察が可能であることから、眼底三次元画像解析の算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和7年1月31日》

428 眼底三次元画像解析（うっ血乳頭等）の算定について

### ○ 取扱い

- ① 次の傷病名に対するD256－2眼底三次元画像解析の算定は、原則として認められる。
  - (1) うっ血乳頭
  - (2) 視神経萎縮
  - (3) 緑内障疑い（初診時）
- ② 次の傷病名に対するD256－2眼底三次元画像解析の算定は、原則として認められない。
  - (1) 網膜動脈硬化症
  - (2) 白内障

### ○ 取扱いを作成した根拠等

眼底三次元画像解析は、通常の眼底検査では確認できない網膜・脈絡膜や視神経乳頭の断層面を立体的に観察できる検査である。網脈絡膜疾患における診断、病変部位の同定並びに経過観察、緑内障における網膜神経線維層の欠損と視神経乳頭陥凹の程度の判定による早期診断に有用である。

一方、網膜動脈硬化症や白内障は、精密眼底検査により診断や経過観察が可能であり、当該検査の必要性は低いと考えられる。

以上のことから、上記①の傷病名に対するD256－2眼底三次元画像解析の算定は原則として認められるが、②の傷病名に対する算定は原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、  
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

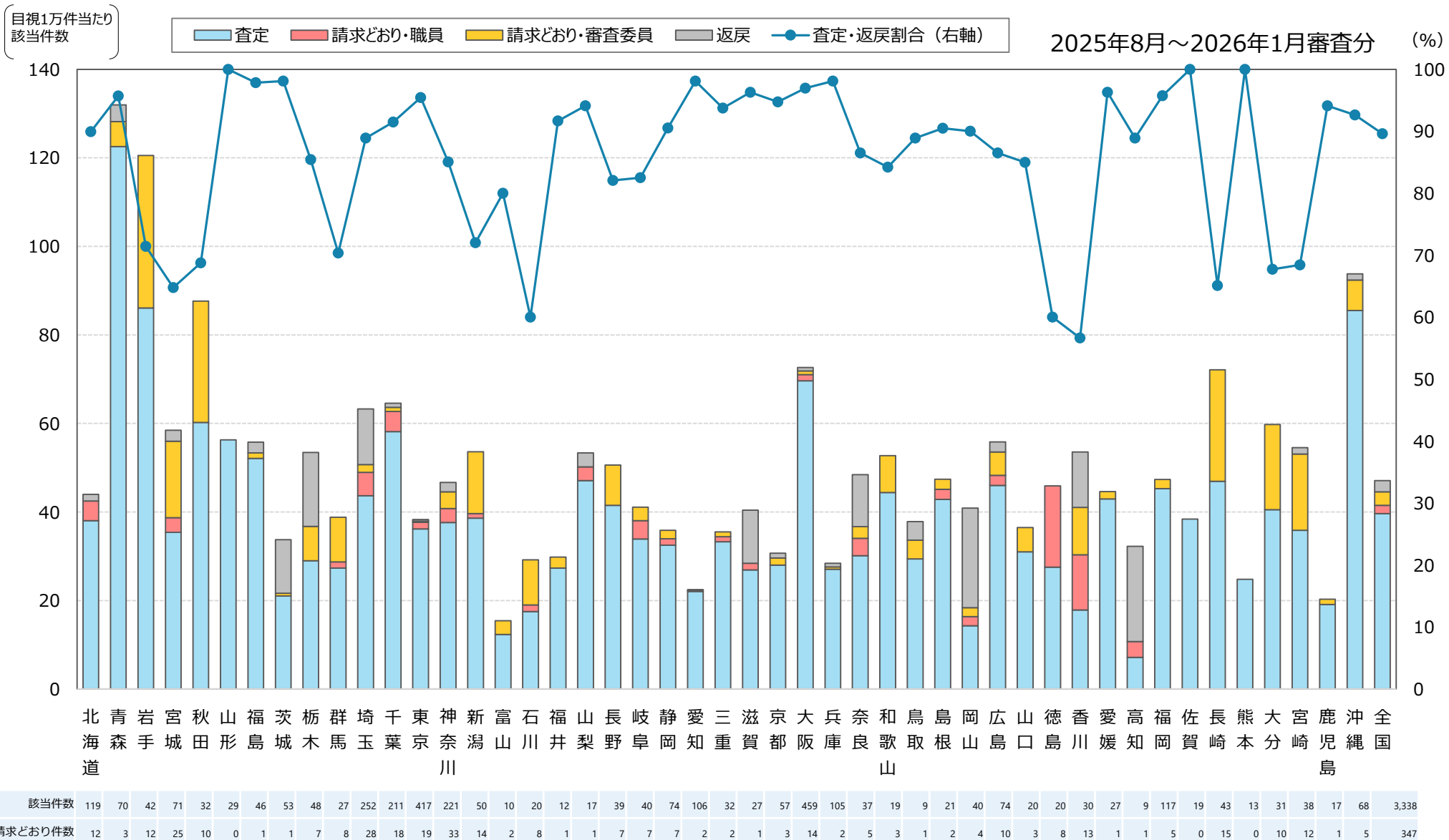
## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 89.60%
- 検証対象都道府県 25

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	香川、石川、徳島、宮城、長崎、大分、宮崎、秋田、群馬、岩手、新潟、富山、長野、岐阜、和歌山、山口	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	徳島、香川、埼玉、北海道、岐阜、奈良、高知、宮城、神奈川、広島、岡山、石川、群馬、新潟	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岩手、秋田、長崎、大分、宮城、宮崎、新潟、香川、石川、群馬、長野、和歌山、栃木、山口、広島、鳥取	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	3,338件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	2,991件
検証を必要とする審査	請求どおり	347件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数